

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 24 年 1 月 19 日 (2012.1.19)

【公開番号】特開 2011-156970 (P2011-156970A)
 【公開日】平成 23 年 8 月 18 日 (2011.8.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-033
 【出願番号】特願 2010-20395 (P2010-20395)
 【国際特許分類】

B 6 0 H 1/22 (2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/22 6 1 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 29 日 (2011.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明のシートヒータにおいては、シートバックの背もたれ面を、背もたれ面上部の領域と、背もたれ面下部の領域と、に所定割合の比に区画し、前記発熱体を、前記シートクッションの着座面と前記背もたれ面下部に設けると共に、シートクッションの着座面前部の発熱密度を、着座面後部の発熱密度よりも高くし、前記背もたれ面下部の発熱密度を、前記シートクッションの着座面後部の発熱密度よりも高くしたことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートクッションとシートバックとを備えた座席に発熱体を設けたシートヒータであって、

前記シートバックの背もたれ面を、背もたれ面上部の領域と、背もたれ面下部の領域と、に所定割合の比に区画し、

前記発熱体を、前記シートクッションの着座面と前記背もたれ面下部に設けると共に、シートクッションの着座面前部の発熱密度を、着座面後部の発熱密度よりも高くし、前記背もたれ面下部の発熱密度を、前記シートクッションの着座面後部の発熱密度よりも高くしたことを特徴とするシートヒータ。

【請求項 2】

前記着座面前部の領域と、前記着座面後部の領域と、を着座面の前後方向に所定割合の比に区画したことを特徴とする請求項 1 に記載のシートヒータ。

【請求項 3】

前記着座面前部の発熱密度と、前記着座面後部の発熱密度と、を所定割合の比に設定したことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシートヒータ。

【請求項 4】

前記着座面前部の発熱密度と、前記着座面後部の発熱密度と、前記背もたれ面下部の発熱密度と、を所定割合の比に設定したことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシート

ヒータ。

【請求項 5】

前記シートバックの背もたれ面上部に発熱体を設け、前記背もたれ面上部の発熱密度を、前記着座面前部の発熱密度および前記背もたれ面下部の発熱密度よりも低くしたことを特徴とする請求項 4に記載のシートヒータ。

【請求項 6】

前記背もたれ面上部の領域と、前記背もたれ面下部の領域と、を上下方向に所定割合の比に区画したことを特徴とする請求項 5に記載のシートヒータ。

【請求項 7】

前記着座面前部の発熱密度と、前記着座面後部の発熱密度と、前記背もたれ面下部の発熱密度と、前記背もたれ面上部の発熱密度と、を所定割合の比に設定したことを特徴とする請求項 5 または 6に記載のシートヒータ。